

家庭の防災

お役立ち

BOOK

付録つき

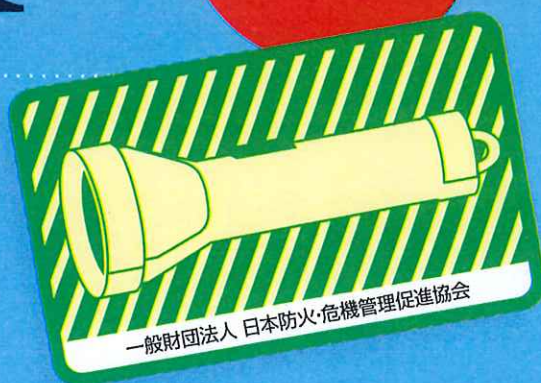
付録

光って懐中電灯の場所を知らせる! 「蓄光シール」

非常持出品チェックシート

備蓄品チェックシート

緊急時用メモ



あなたの備え、大丈夫?

お金や労力をかけない
家庭で無理なくできる 地震対策

編集発行 一般財団法人 日本防火・危機管理促進協会

この冊子は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。





地震対策

お金や力がかからない

家庭で無理なくできる

避難行動

閉じ込められないようドアを開ける

▶ 玄関ドア



▶ トイレ



▶ 風呂場



電気のブレーカーを切って避難

(地震の場合)



OFF

地震による
電気火災例

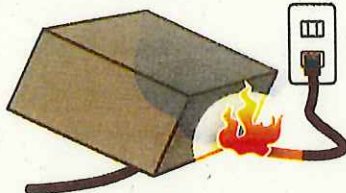
電気ストーブの上に
物が落下



観賞魚用ヒーターが
外に飛び出て
可燃物の上に落ちる



家具の下敷きになっ
て傷ついた
電気コードが発火



家に留まるのが危険な時は避難所へ

▶ 夜間の避難は危険、明るいうちに

▶ 非常持出品を持って

※ただし、危険が迫っているときは、身一つで逃げる



火災への備え

消火器

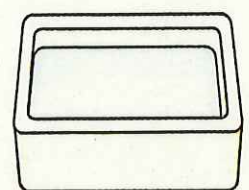
炎が天井に届くと消火器では消せません。黒い煙は有毒ガスの可能性が。どちらの場合もすぐに避難しましょう。



▶ 住宅用火災警報器



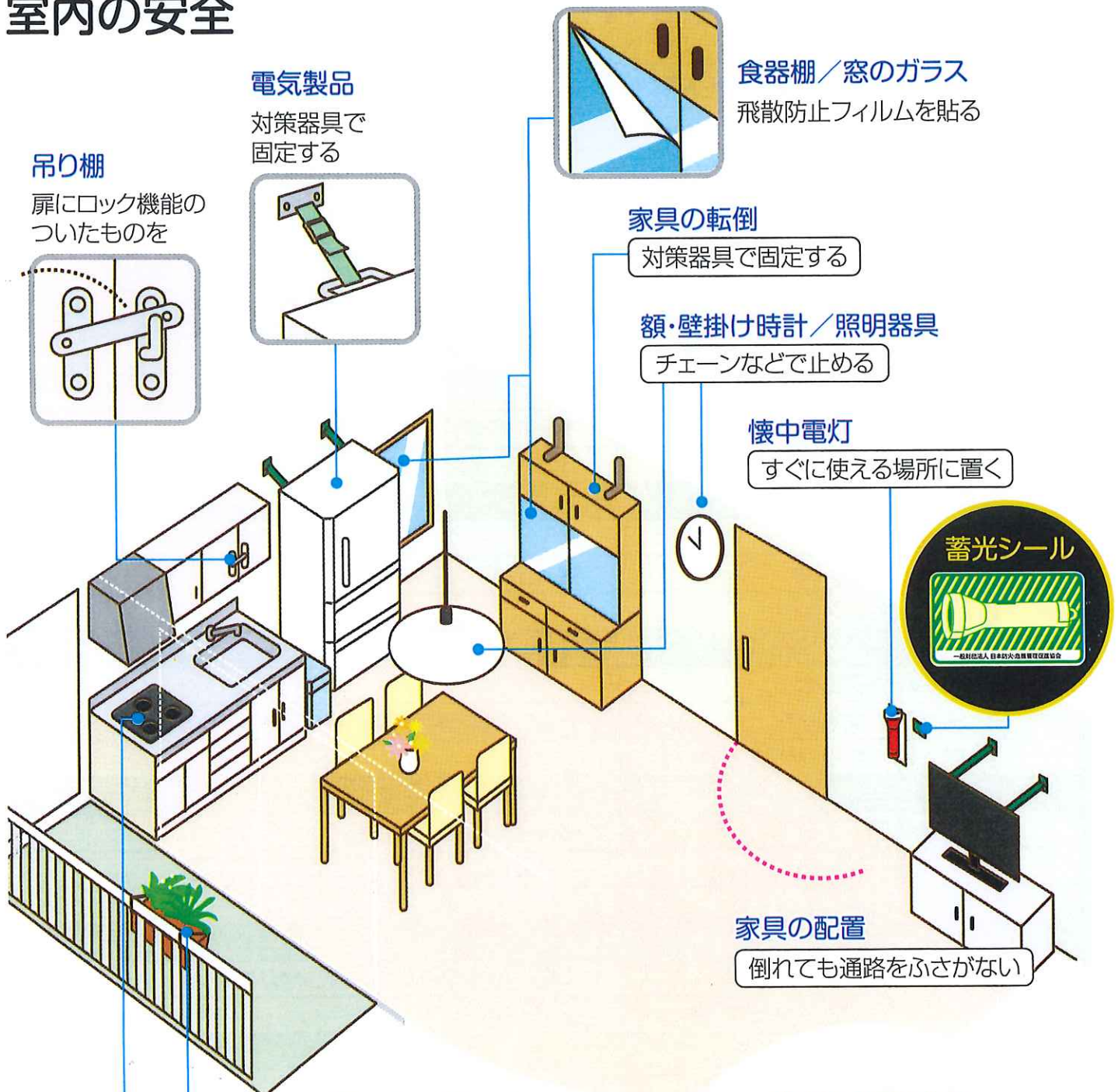
▶ 風呂水の汲み置き



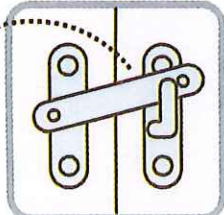


あなたの備え、大丈夫？

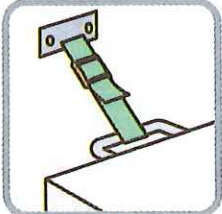
室内の安全



吊り棚
扉にロック機能のついたものを



電気製品
対策器具で固定する



食器棚／窓のガラス
飛散防止フィルムを貼る

家具の転倒
対策器具で固定する

額・壁掛け時計／照明器具
チェーンなどで止める

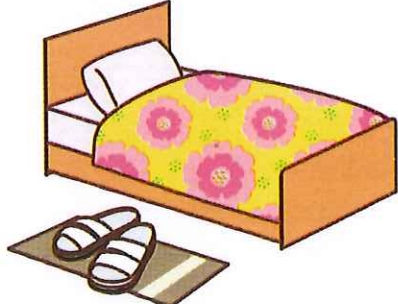
懐中電灯
すぐに使える場所に置く



家具の配置
倒れても通路をふさがらない

植木鉢、プランター
落ちないようにしておく

割れたガラス片を
踏み抜かないために



底の厚い履物を用意



コンロ
▶ 油、熱湯などでの火傷に注意

大きな揺れ → まずコンロから離れる

火の始末 → 大きな揺れがおさまってから

災害時には、何よりも自分の命を守ること、そして、けがをしないことが大切です。
いざという時の備えがあれば、被害を最小限にとどめることができます。

生活の備え

『備蓄品』チェックシートを参考に、生活に必要なもの、有ると便利なものを備えます。

1週間分以上の備蓄を!!

広域災害では救援物資はすぐには行き渡りません。



備蓄量の目安は家族の人数×7日分

家の補強

▶ 耐震診断

ホームページでアクセスして直ぐにチェックできます。



誰でもできる わが家の耐震診断

一般財団法人日本建築防災協会作成
(国土交通省住宅局監修)

無料の住宅耐震診断を行っている自治体もあります。

▶ 家の耐震補強

多くの自治体が助成制度を設けています。

▶ 耐震シェルター

家の補強より少ない費用で設置できる耐震シェルター。
助成制度のある自治体もあります。



ローリングストック法

普段使いの食料品で、常温保存できるものを
多めに買い置きし、食べたら買い足す方法。
いつもの家庭の味に近いものを食べることが、
非常時を乗り切る力につながります。



情報の収集

ハザードマップ

自然災害による被害予想を地図にしたもの。
地元自治体が作成したハザードマップを見て、自宅
周辺の災害の可能性を知りましょう。

避難路の確認

ハザードマップを参考に避難所までの
ルートマップを作りましょう。

▶ 避難ルートは2つ以上用意

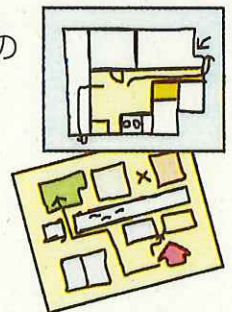
建物が倒れて通れない場合などに備
え、別のルートも用意します。

▶ 実際に歩いて確認

被害を受けそうな崖、橋、建物、塀などをチェックします。

地震 → 落下物 (ベランダの植木鉢、窓ガラス、看板、
エアコンの室外機)

浸水 → 側溝、マンホール
(浸水時にフタが外れることがある)



ご家族の安否確認方法、決まっていますか？

安否確認のポイント

- 携帯電話は常にフル充電状態にしておく。簡易充電器を用意する。
- 家族の集合する場所を決めておく。
- 家族の連絡先や避難手順などを記載した緊急時用メモを作り携帯する。

**です。
無事です。
〇〇避難所に
います。



覚えておきましょう 安否情報確認サービス

災害用伝言ダイヤル(固定電話)

利用
方法

171

に電話

- 伝言の録音の場合 → **1**
- 伝言の再生の場合 → **2**

災害時、被災地への通信が増え、つながりにくい状況になった場合に使えます。
「171」に電話し、案内に従って録音や再生をします。

※毎月15日に体験利用ができます。

災害用伝言板(携帯電話やスマホ・パソコン)

- web171 <https://www.web171.jp/>
- J-anpi <http://anpi.jp/> 安否情報まとめて検索
- NTTドコモ <http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi>
- ソフトバンク <http://dengon.softbank.ne.jp/J>
- KDDI <http://dengon.ezweb.ne.jp/>

Twitter、FacebookなどのSNSやSkypeなども使えます。

今すぐ作ろう! ⚠️ 緊急時用メモ

* ご家族の人数分コピーしてお使いください。必要事項を記入し2つ折り(山折り)にして必ず携帯するようにしましょう。個人情報が含まれているので、取り扱いには注意しましょう。



緊急時用メモ

氏名	性別
生年月日	血液型
自宅住所	
電話	
勤務先(学校・保育園)名	
住所	電話
緊急連絡先 (氏名) (親戚、知人など) (電話)	
かかりつけの医療機関	
傷病の既往歴や常用薬など	
避難場所(一時・広域)	
家族の集合場所	
家族間の安否確認の方法(災害用伝言板を利用するなど)	
健康保険証番号	
免許証番号	
口座番号	

山折り

緊急時用メモ

氏名	性別
生年月日	血液型
自宅住所	
電話	
勤務先(学校・保育園)名	
住所	電話
緊急連絡先 (氏名) (親戚、知人など) (電話)	
かかりつけの医療機関	
傷病の既往歴や常用薬など	
避難場所(一時・広域)	
家族の集合場所	
家族間の安否確認の方法(災害用伝言板を利用するなど)	
健康保険証番号	
免許証番号	
口座番号	

山折り

非常持出品チェックシート

リュックなど両手が自由になるバッグに入れます。
玄関など持ち出しやすい場所に置きましょう。

- ✓ 地震発生時は先ず自分の身を守ること!
- ✓ バッグを取るのは揺れが収まってから
- ✓ バッグは一人にひとつ用意
- ✓ 重くなり過ぎないように持出品を選びましょう



チェック欄	避難用品	
	ヘルメット又は防災ずきん	
	底の厚い靴	割れたガラスやクギから足を保護する。
	手袋	薄手の作業用手袋。
	懐中電灯	小型のLEDライトが点灯時間が長い。
	非常食	
	飲料水	
	アメ、チョコレート	エネルギー補充に便利。
	カンパン、ビスケット	
	衛生用品	
	絆創膏・消毒薬など	
	歯ブラシ、歯磨き粉	水なしで歯を磨ける液体歯磨きもあります。
	マスク、タオル、からだ拭き	
	衣料品	
	下着・靴下	吸汗速乾性素材が快適。
	アルミ保温シート	サバイバルシートなどとも呼ばれている。
	使いすてカイロ	
	貴重品類	
	紙幣、100円玉、10円玉	災害時は公衆電話の方がつながり易い。
	預金通帳、保険証、免許証等	番号を控えたメモかコピー。
	その他(必要に応じて)	
	持病の薬	あれば、お薬手帳も。
	生理用品	
	身だしなみ用品	くし、ブラシ、鏡、化粧品など。
	幼児用品	粉ミルク、紙おむつ、おしりふきなど。
	介護用品	紙おむつ、入れ歯洗浄剤など。
	アレルギー対応食	
		フリースペース(ご自由にお使いください)



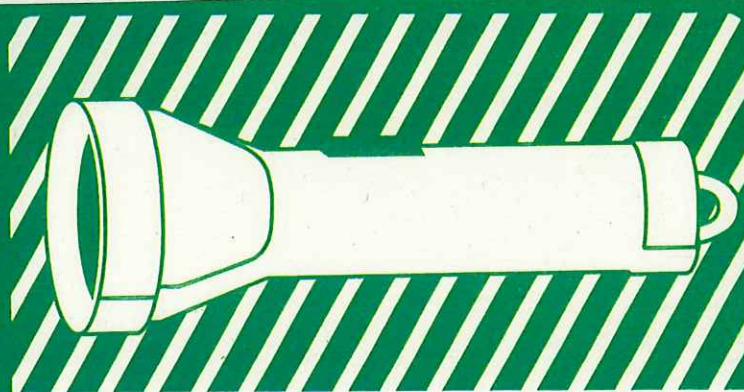
備蓄品チェックシート

家族構成を考えて用意しましょう。

チェック欄	食料品類 (栄養のバランスに配慮しましょう)	
	飲料水	1人1日3リットルが目安。
	レトルト食品(ごはん・お粥など)	そのまま食べられるので便利。
	缶詰	フルーツ缶など甘いものもあるとよい。
	アルファ米(五目ご飯などもある)	水を加えるだけでご飯になる。
	インスタントラーメン、カップみそ汁	災害時には温かいものが欲しくなる。
	乾麺、パスタ	燃料節約のため、早ゆでタイプの物を。
	野菜ジュース	野菜の代用となる。
	栄養補助食品、サプリメント	不足しがちなビタミン、ミネラルを補給。
生活用品		
	簡易トイレ	マンションなどでは特に重要。
	カセットコンロ、ガスボンベ	4人家族なら、一日ボンベ2本が目安。
	ラップ、紙皿	皿にラップを敷いて使えば皿洗い不要。
	LEDランタン	テーブルなどの上に置ける。
	トイレトペーパー	
	ティッシュペーパー	ウェットティッシュもあれば便利。
	ドライシャンプー	水なしで髪と頭皮をきれいにできる。
	レジャーシート	防寒、防水、防風や目隠しなどの用途に使える。
	充電器、乾電池	
	ラジオ	カーラジオでも代用できる。
	給水用ポリタンク	
	ごみ袋、新聞紙	簡易トイレも作れる。
	マッチ、ライター	
	救急セット	

本件は、『蓄光シール』にはなっておりません。

家庭内の壁等に据え付けられている懐中電灯には、蓄光シールを貼ってください。



一般財団法人 日本防火・危機管理促進協会

※蓄光効果は時間の経過とともに減衰します。永久的なものではありません。

付録

光って 懐中電灯の 場所を知らせる! 「蓄光シール」



使い方

懐中電灯のそばに貼ってください

蓄光とは、太陽光・電灯など光のエネルギーを吸収し、その蓄えたエネルギーで光を放出する機能。暗いところで光る特性を活かして、蓄光はいろいろなシーンで利用されています。

知っておきたい 災害情報の 集め方



【資料一部抜粋】

一般財団法人 日本防火・危機管理促進協会

この刊行物は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。



令和3年5月20日から

警戒レベル

4

ひなんしじ 避難指示で必ず避難

ひなんかんこく 避難勧告は廃止です

警戒レベル

新たな避難情報等

5



きんきゆうあんぜんかくほ
緊急安全確保※1

これまでの避難情報等

災害発生情報
(発生を確認したときに発令)

・避難指示(緊急)
・避難勧告

避難準備・
高齢者等避難開始

大雨・洪水・高潮注意報
(気象庁)

早期注意情報
(気象庁)

~~~~<警戒レベル4までに必ず避難!>~~~~

4



ひなんしじ  
**避難指示**※2

3



こうれいしゃとうひなん  
**高齢者等避難**※3

2



大雨・洪水・高潮注意報  
(気象庁)

1



早期注意情報  
(気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。

※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

警戒レベル5は、

すでに安全な避難ができず  
命が危険な状況です。

警戒レベル5緊急安全確保の  
発令を待ってはいけません!

避難勧告は廃止されます。

これからは、

警戒レベル4避難指示で  
危険な場所から全員避難  
しましょう。

避難に時間のかかる

高齢者や障害のある人は、  
警戒レベル3高齢者等避難で  
危険な場所から避難  
しましょう。

内閣府(防災担当)・消防庁



# 2

## すばやく避難するために

### 1 ハザードマップでお住いの地域を確認

ハザードマップとは、災害の危険がある場所を示した地図のことです。

洪水、土砂災害、津波等、様々なハザードマップが作成されています。ご家族や地域の皆さんで、**地域の危険か所について確認**しましょう。

「ハザードマップポータルサイト」  
(<https://disaportal.gsi.go.jp/>)  
から日本全国のハザードマップを確認することができます。



ハザードマップ



### 2 避難所までの避難ルートを確認

避難所までのルートを決めておきましょう。次のポイントに気をつけて確認します。

- 洪水や津波、地震など**災害の種類によって安全な避難所が変わる地域**があります。
- 夜間の見通しがきかない場所、フタの無い側溝**がある場所など、危険な場所を事前に確認し、より安全なルートを設定します。

#### コラム1

### 非常持ち出し品の準備も忘れずに

避難時に持ち出す非常用持ち出しバッグは、すみやかに避難できる重さにしておくことが大切です。また、預金通帳が多数ある場合などは、**銀行口座番号、生命保険契約番号のメモ**を入れておくと安心です。

#### 非常用持ち出しバッグの内容の例(人数分用意しましょう)

- 飲料水 食料品(カップめん、缶詰、ビスケット、チョコレートなど)
- 貴重品(預金通帳、印鑑、現金、健康保険証など)
- 救急用品(ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など)
- ヘルメット 防災ずきん 軍手 懐中電灯 携帯ラジオ
- 予備電池 携帯電話の充電器 衣類 下着 毛布
- タオル 洗面用具 使い捨てカイロ 携帯トイレ
- ※感染症対策 手指消毒液(アルコール) マスク ウェットティッシュ
- ※乳児のいるご家庭は、ミルク・紙おむつ・ほ乳びんなども用意しておきましょう。



### 3 情報を確認し、早めの行動を

大型の台風が近づいてきた時や大雨が降ってきた時には、テレビ・ラジオ・スマホ等から正確な情報を集めます（情報の詳しい入手方法はこのパンフレットの11ページ～15ページをご覧ください）。

また、屋外に置いてある物品の整理や固定などに早めにとりかかりましょう。ホテルや台風の影響が少ない地域の親戚や友人の家などに避難することも考えてください。

自宅周辺のがけや斜面等に次のような兆候が現れたら、ただちに避難しましょう。

#### がけ崩れ



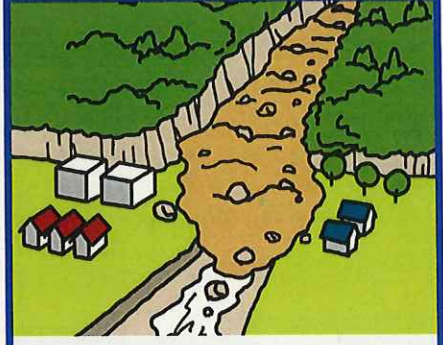
- がけにひび割れができる
- 小石がパラパラと落ちてくる
- がけから水が湧き出す
- 湧水が止まる・濁る
- 地鳴りがする

#### 地すべり



- 地面がひび割れ・陥没
- がけや斜面から水が噴き出す
- 井戸や沢の水が濁る
- 地鳴り・山鳴りがする
- 樹木が傾く
- 亀裂や段差が発生

#### 土石流



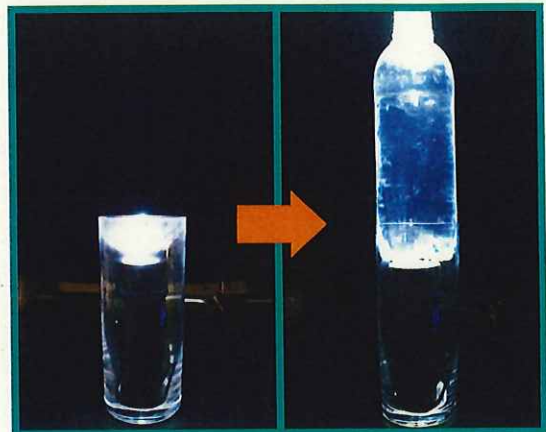
- 山鳴りがする
- 急に川の水が濁り、流木が混ざり始める
- 腐った土の匂いがする
- 降雨が続くのに川の水位が下がる
- 立木が裂ける音や石がぶつかり合う音が聞こえる

#### コラム 懐中電灯を「ランタン」に

懐中電灯を上向きに置き、その上に水を入れたペットボトルを置くだけで、周囲を照らすペットボトルランタンになります。

懐中電灯が小さい場合にはコップに入れて行います。

火を使わず、安全に明かりを点けることができます。





## 4 ためらわずに早めの避難を

### 1 暗くなる前、道路が冠水する前に避難

お年寄りや障がいのある人などは避難に時間がかかります。移動時間を考えて早めに自主避難することが大切です。夜間に大雨や水位の上昇が予想される場合には、**暗くなる前に避難**しましょう。道路が冠水しやすい地域では、冠水する前に避難します。



### 2 危険を感じたらすぐ避難

猛烈な大雨のときは屋外スピーカーによる避難情報が雨音で聞き取れなかったり、突然の大雨で避難情報の発令が遅れたりすることがあります。危険を感じたらすぐ逃げる自主避難が重要です。

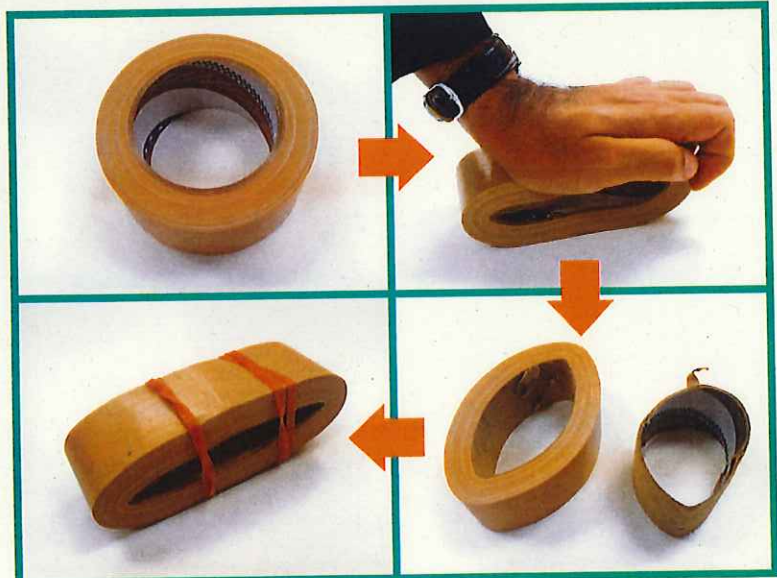
### 3 氾濫危険情報や土砂災害警戒情報等が出されたらすぐ避難

土砂災害等の危険がある地域にお住まいの方は、**氾濫危険情報（河川）、土砂災害警戒情報、高潮特別警報、高潮警報**（警戒レベル4相当情報）が発表されたら、安全な場所に避難しましょう。市区町村からの避難勧告・避難指示（緊急）が発令されていなくても、家族・親戚や地域内の方々に声をかけあって避難します。

## コラム3 非常用持ち出しバッグにもう一品「布ガムテープ」を

添え木を患部に固定したり、連絡メモとして壁に貼ったり布ガムテープはがあると便利。

芯の部分を柔らかくなるまで押し潰して取り除き、平らにして輪ゴムで束ねるとかさばりません。非常用持ち出しバッグの隙間に入れてみてはいかがでしょうか。





## 4 避難したらもどらない

大雨が止んでも河川の氾濫や土砂災害が発生するおそれがあります。安全が確認されるまで、避難場所から自宅にもどることは避けましょう。大事なものや持ち出し品を取りに帰るのは危険です。

### コラム4 マイ・タイムラインを作成しましょう

**マイ・タイムライン**とは、台風の接近によって河川の水位上昇が予想される時などに、自分自身がとる防災行動を時間ごとに整理した個人防災行動計画です。

台風を想定したタイムラインでは、台風が直撃する「3～2日前」「1日前」「半日前」「5～3時間前」など、時間ごとにどのような行動をとるか整理します。



#### Step 1 洪水ハザードマップと避難場所、避難の合図となる情報を確認

避難指示（緊急）などの避難情報や土砂災害警戒情報など、どの情報が出たら避難を開始するか確認します。

#### Step 2 洪水発生前までにとるべき基本的行動を考える

今後の台風を調べ始める、川の水位を調べ始める、非常用持ち出しバッグをチェックする、避難しやすい服装に着替える、安全なところへ移動を始める、など基本的な行動とその順番を考えます。

#### Step 3 家族や家庭の特徴を加味する

車を持っている、祖父母と同居しているなど、自分の家庭にのみあてはまる状況を確認し、自分たちに必要な行動を考えます。

#### Step 4 時間ごとに整理してタイムラインの完成

基本的行動と家族のために必要な行動を上記の時間ごとに並べます。

※上記はマイ・タイムライン作成の一例です。

#### マイ・タイムライン作成例

緊急避難場所等：〇〇市立体育館  
住んでいる場所の浸水深(m)：13m

警戒レベル1 台風が接近  
台風直撃 3日前  
テレビ、インターネットで台風の進路をチェックする

警戒レベル2 雨風が強くなる  
台風直撃 2日前  
付近の川の上流の雨量を調べる

台風直撃 1日前  
川の水位が上昇  
付近の川の水位を調べる

台風直撃 半日前  
川の上流から水が集まる  
避難するときに持っていくものを準備する

警戒レベル3 河川敷のグラウンドが水没  
氾濫 5時間前  
避難しやすい服装に着替える  
おじいちゃん、おばあちゃんが避難する

警戒レベル4 川の水があふれそうになる  
氾濫 3時間前  
全員の安全な場所に避難する

警戒レベル5 氾濫発生  
氾濫発生  
避難完了

自治体によってはタイムラインを作成するためのシートやホームページを用意しています。国土交通省のサイト「Webでマイ・タイムライン」(<https://www.ktr.mlit.go.jp/river/bousai/mytimeline/>)からも、手軽にタイムラインを作成することができます。





## 5 移動が危険なときは垂直避難を

### 1 夜間の避難は危険です

夜間は見通しが悪く、側溝などが見えなくなります。大雨が降っているとさらに見通しが悪くなります。夜間の避難所への避難（水平避難）は避けましょう。

### 2 泥水で冠水した道路も危険です

道路が泥水などで冠水すると、側溝や逆流でフタの外れたマンホール、田畑との境界が見えなくなります。



「落とし穴」にはまると、自力では脱出できず、非常に危険です。冠水した道路を通過して水平避難するのは避けましょう。

### 3 垂直避難の方法

土砂災害の多くは木造の1階で被災しています。道路が冠水しているときや、夜間で見通しが悪いときは、上階などへ「垂直避難」しましょう。

近くの頑丈な建物の2階以上に緊急避難するか、それも難しい場合は家の中でより安全な場所（がけから離れた部屋や2階など）に避難しましょう。



## コラム5 避難所での感染症対策

避難所では新型コロナウイルスなどの感染症への対策をとることが必要です。主な対策には次のようなものがあります。

#### 事前にとる対策

- マスクや消毒液、ゴム手袋や非接触型検温器、フェイスシールド、防護服代わりに使用するカップ、パーテーションなど、**感染防止のための物資**を避難所の**備蓄物資**に
- 密にならない受け入れ手順、体温・体調確認の方法について定めておく
- 避難所のゾーニング、濃厚接触者等の専用スペースの確保
- 各家庭でホテルや親戚の家に寄せる**分散避難を事前に検討**する

#### 避難してからの注意事項

- マスクの常時着用
- 手指の消毒の徹底
- 定期的な換気
- 共有箇所の消毒
- 避難スペースでのパーテーションの設置
- 毎日の検温と体調確認
- 調理台の消毒と小分けでの配食
- 使い捨て容器の利用
- 物資配布時に密にならない工夫
- 避難者の間で密にならないためのルールを共有



# 3

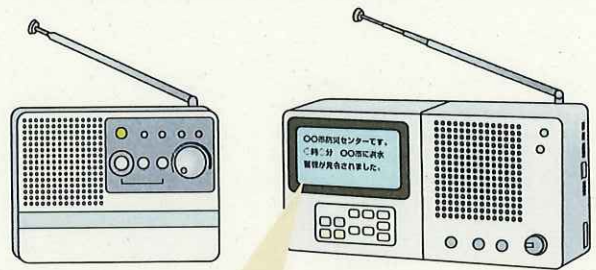
## 災害情報の入手方法

### 1 既存の情報源を確認しておく

#### ●防災行政無線

市町村が、住民へ防災情報を伝達する無線通信システムです。屋外拡声器（スピーカーによる放送）による放送が一般的です。広報車で呼びかけることもあります。しかし、大雨の際には放送が聞こえないという課題があり、戸別受信機の設置が進められています。市町村によっては戸別受信機の貸し出しをしていますので、確認しておきましょう。

#### 戸別受信機



音声だけではなく文字情報でも放送してくれる戸別受信機もあります。

#### ●メール配信サービスやテレホンサービス

市町村によっては、メールアドレスを登録すると災害情報をメールで配信したり、防災行政無線で広報したものと同一内容を確認できる「災害情報テレホンサービス」（通話料がかかります）を行っています。詳しくは、お住いの市町村にお問い合わせください。



#### ●ラジオやテレビ

情報を収集するのにラジオやテレビは有効です。通常のラジオ放送以外に、ライトや充電機能など災害時に役に立つ機能を備えた防災ラジオがあると便利です。

地元のローカルテレビやケーブルテレビのデータ放送を見れば、市町村の避難情報や避難所開設の情報を確認できます。

#### 防災ラジオ



#### データ放送の例



テレビのリモコンのdボタンを押して、矢印キーで項目を選んでください。



## 2 防災アプリをダウンロードしておく

無料の防災アプリの一例です。

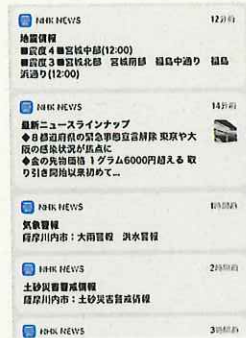
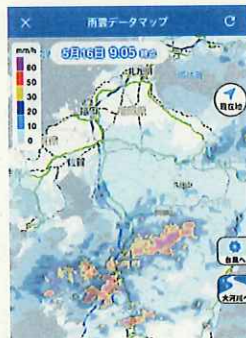
### ● Yahoo! 防災速報 | 地震、津波、豪雨など、災害情報をいち早くお届け



地震、台風の雨、警報、避難勧告などを、現在地と設定した3地域まとめてニュース速報するヤフーの防災速報アプリです。



### ● NHK ニュース・防災 | NHKの最新ニュースや災害情報をスマホで



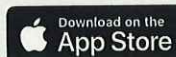
NHKの公式アプリです。マップ上で雨雲や台風・河川情報のチェック、最新ニュースや災害情報を配信します。



### ● goo 防災アプリ | 防災マップ、地震・気象情報、安否確認・登録



防災・災害に関する情報の提供や、安否情報の登録・検索ができ、防災マップでは避難所の検索などが利用できる総合防災アプリです。





### 3 SNSを活用する

#### ● LINEで情報を収集する

都道府県や市町村によっては、LINEの公式アカウントを持っています。友達に追加して、災害情報等を収集しましょう。詳しくは、お住いの市町村に問い合わせてください。

#### LINEの例



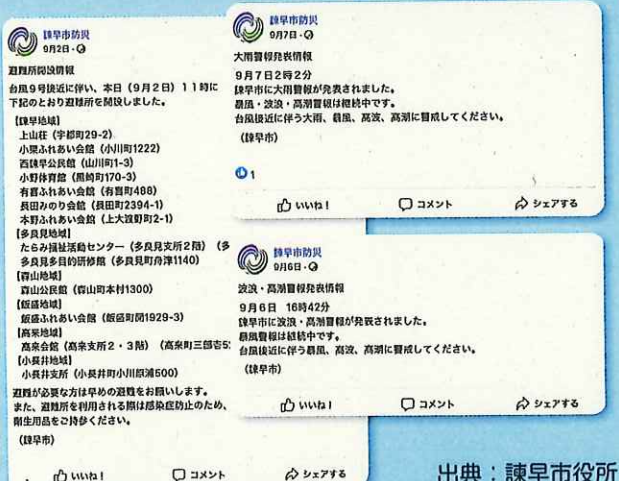
警戒レベルに合わせた避難情報や、開設された指定避難所などの情報をお知らせします。

出典：福岡市役所

#### ● FacebookやTwitterで情報を収集する

都道府県や市町村によっては、FacebookやTwitterで避難情報や指定避難所の開設状況を配信しています。

#### Facebookの例



出典：早稲市役所

#### Twitterの例



出典：南陽市役所

※個人発信のSNSには**デマ情報も含まれる**おそれがあります。ご注意ください。



# わが家の「マイ・タイムライン」

# 記入シート

何度も利用できるように、事前にコピーしてご利用ください。記入後は家族のみんなが見る場所に貼っておきましょう。

わが家の「マイ・タイムライン」記入シートを作成することにより、適切な避難行動を事前に整理しておきましょう。

## 平常時

## 大雨のおそれ

## 避難開始時期

## 災害発生

### 大雨発生の危険性

### 重大災害の兆候

### 災害発生のおそれ

### 災害発生の高まり

|                  |                                                                                                                                                                |                                                                                                |                                                                                                            |                                                                                                                  |                                                                                                                                      |
|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>気象情報・避難情報</b> | <b>警戒レベル1</b><br>早期注意情報(気象庁発表)                                                                                                                                 | <b>警戒レベル2</b><br>大雨・洪水注意報等(気象庁発表)                                                              | <b>警戒レベル3(危険な場所から高齢者等避難開始)</b><br>避難準備・高齢者等避難開始(市区町村発令)<br><br><b>警戒レベル3相当情報</b><br>洪水 氾濫警戒情報 / 大雨警戒(土砂災害) | <b>警戒レベル4(危険な場所から全員避難)</b><br>避難勧告、避難指示(緊急)(市区町村発令)<br><br><b>警戒レベル4相当情報</b><br>洪水 氾濫危険情報 / 土砂災害 土砂災害警戒情報        | <b>警戒レベル5</b><br>災害発生情報(市区町村発令)<br><br><b>警戒レベル5相当情報</b><br>洪水 氾濫特別警戒(浸水警) / 土砂災害 大雨特別警戒(土砂災害)                                       |
| <b>事前の確認事項等</b>  | ●自宅周辺の災害リスクを確認する<br><input type="checkbox"/> 洪水浸水想定区域<br><input type="checkbox"/> 土砂災害(特別)警戒区域<br>●住んでいる場所の浸水深は?<br>( ) )<br>●指定緊急避難場所は?<br>( ) )<br>●自主避難を考える | ●非常持出品を確認する<br>●避難する際、家族に支援が必要な人はいるか<br>( ) )<br>●避難するとき支援してくれる人の名前と連絡先を記入する<br>(名前: ) (連絡先: ) | ●指定緊急避難場所の開設状況を確認する<br>●避難するとき声をかける人( ) )<br>( ) )<br>●避難経路を再確認<br>●避難に要する時間は?(徒歩: )分)                     | ●全員避難開始<br>(避難先: ) )<br>●避難するとき声をかける人が近所にいる<br>( ) )<br>( ) )<br>●指定緊急避難場所へ避難できない場合の近隣の安全な場所は?<br>( ) )<br>( ) ) | ●自分で命を守る行動をとる<br>(逃げ遅れた場合は、近くの建物や自宅の2階などより安全な場所に避難し、救助を待つ)<br>(注) 自宅が3m以上の浸水のおそれがある地域や堤防近く、土石流等の直撃を受ける危険がある区域にある人は、早めの「立ち退き避難」が原則です。 |
| わが家の動き           | <スイッチ1>                                                                                                                                                        | <スイッチ2>                                                                                        | <スイッチ3>                                                                                                    | <スイッチ4>                                                                                                          | <スイッチ5>                                                                                                                              |







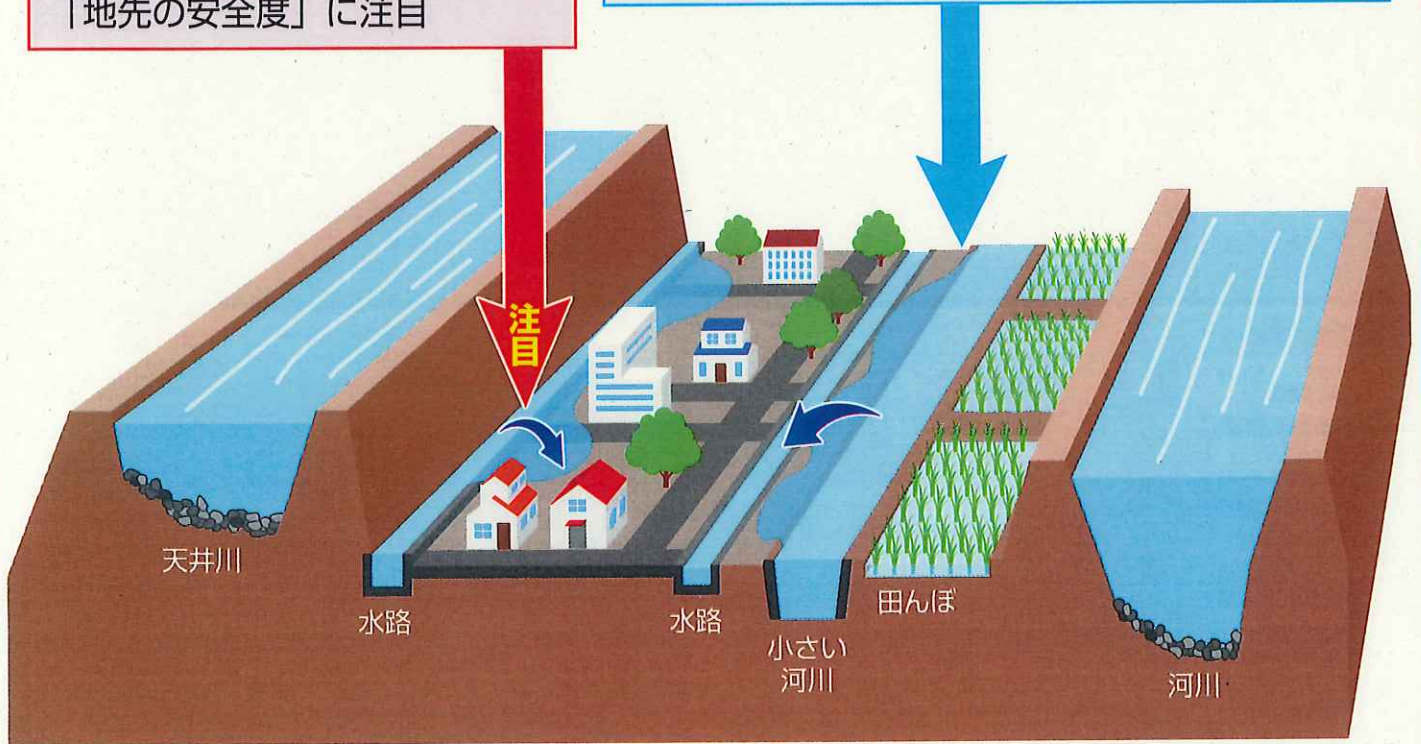




# 地先の安全度マップとは？

「河川の治水安全度」ではなく、  
視点を改めて、人々の暮らす  
「地先の安全度」に注目

大きな河川より小さな河川の安全度は低いので、  
大きな河川より先に小さな河川が溢れ始める。



- ・ 大きい河川の外水氾濫
  - ・ 小さい河川や水路などの内水氾濫
- } 「地先の安全度マップ」は全て考慮

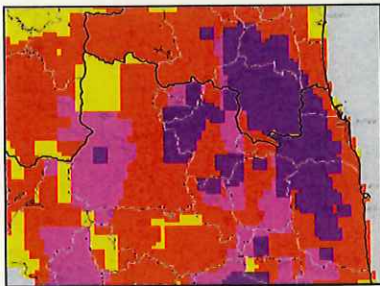
# 地先の安全度マップで想定している雨は？

| 降雨確率      | 10年に一度                   | 100年に一度                      | 200年に一度    |
|-----------|--------------------------|------------------------------|------------|
| 雨の強さ      | 最大50mm/hr                | 最大109mm/hr                   | 最大131mm/hr |
| 24時間雨量    | 170mm/24hr               | 529mm/24hr                   | 634mm/24hr |
| 気象予報用語    | 非常に激しい雨                  | 猛烈な雨                         |            |
| 人の受けるイメージ | ・ 滝のように降る<br>(ゴーゴーと降り続く) | ・ 息苦しくなるような圧迫感がある。<br>恐怖を感じる |            |

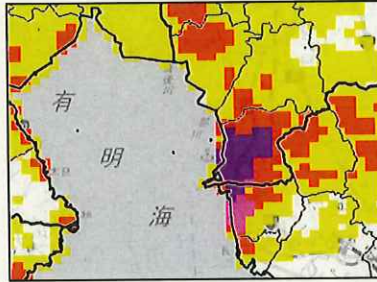


# キキクル

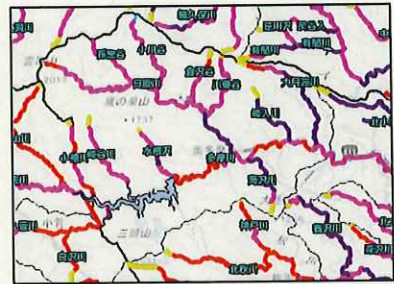
## 大雨警報・洪水警報の危険度分布



土砂キキクル  
(大雨警報(土砂災害)の危険度分布)



浸水キキクル  
(大雨警報(浸水害)の危険度分布)



洪水キキクル  
(洪水警報の危険度分布)



キキクル(危険度分布)ってなに？

キキクル(危険度分布)は、警報が発表されたときや、強い雨が降ってきたときに、どこで土砂災害や浸水害、洪水災害の危険度が高まっているかを知ることができる、命を守るための情報です。



家の裏が斜面となっているAさん(76)



中小河川沿いのマンションの1Fに住むCさん(18)



山間部の流れの速い河川沿いに住むBさん(50)



住宅兼店舗の半地下階で働くDさん(40)



例えば、上の図のケースでは、命を守るためにどの情報を使い、どのような行動をするべきでしょうか。





# 時間ごとにみる、防災気象情報と避難行動

キキクル（危険度分布）は、大雨警報や洪水警報が発表されるような、重大な災害が発生するおそれのある状況で、自らの地域の危険度の高まりを把握するための情報です。

土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の命が脅かされる危険性が認められる場所にお住まいの方は、危険度が高まったら、命を守るために早めの避難をお願いします。

## 【気象庁が発表する情報のタイミングと住民の行動（土砂災害の場合）】

| 気象状況          | 気象庁等の情報                              | 市町村の対応                                                                          | 住民が取るべき行動                                                                                          | 警戒レベル |
|---------------|--------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 大雨の数日～約1日前    | 早期注意情報（警報級の可能性）                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>心構えを一段高める</li> <li>職員の連絡体制を確認</li> </ul> | 災害への心構えを高める                                                                                        | 1     |
| 大雨の半日～数時間前    | 大雨注意報<br>洪水注意報<br>キキクル（危険度分布）        |                                                                                 | ハザードマップ等で避難行動を確認                                                                                   | 2     |
| 大雨の数時間～2時間程度前 | 大雨警報に切り替える可能性が高い注意報<br>※大雨警報<br>洪水警報 | 避難準備・高齢者等避難開始<br>5月改正<br>⇒ 高齢者等避難                                               | 土砂災害警戒区域等や急激な水位上昇のおそれがある河川沿いにお住まいの方は、避難準備が整い次第、避難開始<br>高齢者等は速やかに避難                                 | 3     |
|               | 非常に危険                                | 避難勧告 5月改正<br>⇒ 避難指示                                                             | 速やかに避難<br>・危険な区域の外の少しでも安全な場所に速やかに避難                                                                | 4     |
|               | 極めて危険                                | 避難指示（緊急）<br>※緊急的又は重ねて避難を促す場合等に発令                                                | 避難を完了<br>・道路冠水や土砂崩れにより、すでに避難が困難となっているおそれがあり、この状況になる前に避難を完了しておく                                     | 5     |
| 数十年に一度の大雨     | 大雨特別警報                               | 災害発生情報<br>※可能な範囲で発令<br>・大雨特別警報発表時は、避難勧告等の対象範囲を再度確認<br>⇒ 緊急安全確保                  | 危険な区域からまだ避難できていない方は、命を守るための最善の行動をとる<br>・大雨特別警報発表時には、災害が起きないと思われているような場所でも危険度が高まる異常事態であることを踏まえて対応する |       |

※ 夜間～翌日早朝に大雨警報（土砂災害）に切り替える可能性が高い注意報は、避難準備・高齢者等避難開始（警戒レベル3）に相当します。  
「避難勧告等に関するガイドライン」（内閣府）に基づき気象庁において作成

キキクル（危険度分布）では、警報や土砂災害警戒情報、記録的短時間大雨情報の発表時などに、危険度が高まっている地域を詳しく知ることができます。

あらかじめ、お住まいの土地が持つ災害発生の危険性をご認識いただいた上で、いざというときに見るべき情報をご確認ください。

## 【キキクル（危険度分布）の通知サービスについて】

キキクル（危険度分布）について、速やかに避難が必要とされる警戒レベル4に相当する「非常に危険（うす紫）」などへの危険度の高まりをプッシュ型で通知するサービスを、気象庁の協力のもとで、民間事業者が実施しています。この通知サービスでは、ユーザーが登録した地域の危険度が上昇したとき等に、メールやスマホアプリでプッシュでお知らせします。

協力事業者等詳細は、気象庁ホームページ（[https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/ame\\_push](https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/ame_push)、下記の二次元バーコードを読み込むことでもアクセスできます）をご覧ください。





# 土砂キキクル（大雨警報（土砂災害）の危険度分布）を使うべき場所とタイミング

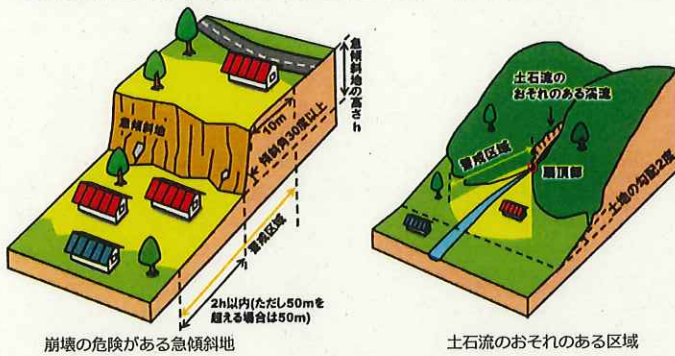
土砂キキクル（大雨警報（土砂災害）の危険度分布）は、大雨警報（土砂災害）や土砂災害警戒情報を補足する情報です。土砂災害発生の危険度の高まりを5段階に判定した結果を表示しており、どこで危険度が高まっているかを予測することができます。避難にかかる時間を考慮して、危険度の判定には2時間先までの土壌雨量指数等の予想を用いています。

## 土砂災害発生の危険性が認められる場所

土砂災害は、土砂災害警戒区域等で発生します。

あらかじめお住まいの環境を把握するとともに、市町村等のハザードマップなどで土砂災害警戒区域であるかをご確認ください。

命が脅かされる危険性が認められる土砂災害警戒区域は以下のような場所です



急傾斜地などの近くは危険ということ？

はい。地形的な要因があるところに大雨が降ることで、土砂災害が発生します。



## 避難のタイミングをつかむための情報

大雨警報（土砂災害）や土砂災害警戒情報が発表されたら土砂キキクル（大雨警報（土砂災害）の危険度分布）を見てください。

**大雨警報（土砂災害）を確認**

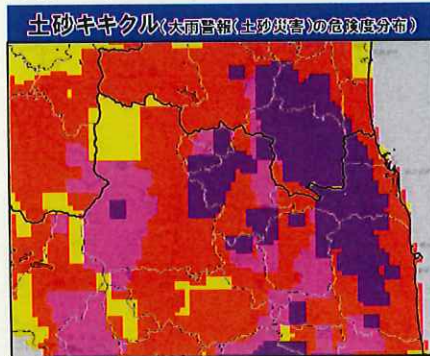
| 中心点 | 11:00 | 12:00 | 13:00 | 14:00 | 15:00 | 16:00 | 17:00 | 18:00 | 19:00 | 20:00 | 21:00 | 22:00 | 23:00 | 24:00 | 備考       |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----------|
| 山形  | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 土砂災害警戒区域 |
| 山形  | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 土砂災害警戒区域 |
| 山形  | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 土砂災害警戒区域 |
| 山形  | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 土砂災害警戒区域 |
| 山形  | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 赤     | 土砂災害警戒区域 |

危険度の高まる時間帯を確認しましょう。

さらに土砂災害の危険度が上がる予想

**土砂災害警戒情報を確認**

**土砂キキクル（大雨警報（土砂災害）の危険度分布）を確認**  
<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:land/>  
 土砂災害の危険度を1kmメッシュごとに詳しく予想しています



うちは土砂災害警戒区域で、危険度が赤になったわ。今は夕方まで雨もひどくないし、今のうちに避難しましょう。



高  
危  
険  
度  
低

| 色が持つ意味       | 住民等の行動の例*                                                           | 相当する警戒レベル |
|--------------|---------------------------------------------------------------------|-----------|
| 極めて危険        | 過去の重大な土砂災害発生時に匹敵する極めて危険な状況。命に危険が及ぶ土砂災害が <b>すでに発生</b> していてもおかしくない。   | 4相当       |
| 非常に危険        | 命に危険が及ぶ土砂災害がいつ発生してもおかしくない非常に危険な状況。 <b>速やかに土砂災害警戒区域等の外への避難を開始する。</b> | 4相当       |
| 警戒<br>(警報級)  | <b>避難の準備が整い次第、土砂災害警戒区域等の外への避難を開始する。</b> 高齢者等は速やかに避難を開始する。           | 3相当       |
| 注意<br>(注意報級) | ハザードマップ等により土砂災害警戒区域等や避難先、避難経路を確認する。今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意。            | 2相当       |
| 今後の情報等に留意    | 今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意。                                               | —         |

\*避難行動の詳細な説明はこちらのページからご確認ください。 <http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/doshakeikai.html>

土砂災害警戒区域等では、赤色以上の危険度となった場合には、早めの避難を心がけてください。







# 洪水キキクル（洪水警報の危険度分布）を使うべき場所とタイミング

洪水キキクル（洪水警報の危険度分布）は、洪水警報を補足する情報です。河川流域に降った雨による洪水災害発生危険度を5段階に判定した結果を表示しており、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。危険度の判定には3時間先までの流域雨量指数の予測値を用いています。

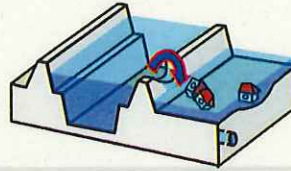
## 洪水災害発生の危険性が認められる場所

洪水災害は、堤防から水があふれたり堤防が決壊した場合に浸水が予想される区域や、山間部の流れの速い河川沿いなどで発生します。特に、決壊した堤防の付近や幅が狭く氾濫時に水かさが増える谷底平野では、破壊力の大きな氾濫流が生じて家屋が押し流されるおそれがあります。あらかじめ市町村等のハザードマップなどで浸水想定区域を確認するとともに、お住まいの環境に危険性がないか（谷底平野かどうか等）を把握してください。

洪水で命が脅かされる危険性が認められる場所は以下のとおりです。



山間部の流れの速い河川で川岸が削られて家屋が流されてしまう場所  
川からあふれた水の流れにより家屋が流失してしまう場所（谷底平野など）  
川の付近の低地の家屋や地下室などのように、深く浸水してしまう場所  
ゼロメートル地帯のように、浸水が長期間継続してしまう場所 など



この情報は中小河川を対象に、洪水災害発生の危険度を示しています。大きな河川については、河川ひとつひとつに対して指定河川洪水予報\*で警戒を呼びかけています。



## 避難のタイミングをつかむための情報

洪水警報が発表されたら、川の水位がある前の早いうちから洪水警報の危険度分布を見てください。自分がいる場所の上流地点も含め、危険度が高まっている場合には、早めの避難行動を心がけてください。

洪水キキクル（洪水警報の危険度分布）を確認

https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html

洪水災害の危険度を詳しく予想しています

洪水警報を確認

危険度の高まる時間帯を確認しましょう。

スマホで簡単アクセス

洪水警報が発表されて、危険度がうす紫になった。高い所（河岸段丘の上）にある知人の家に避難しよう。

大河川を対象とした指定河川洪水予報\*の発表状況も、危険度分布の図上で重ねて表示しています。

| 色が持つ意味       | 住民等の行動の例                                                                           | 相当する警戒レベル |
|--------------|------------------------------------------------------------------------------------|-----------|
| 極めて危険        | 流域雨量指数の実況値が過去の重大な洪水発生時に匹敵する値にすでに到達。重大な洪水害が <b>すでに発生</b> しているおそれが高い極めて危険な状況。        | —         |
| 非常に危険        | 水位周知河川・その他河川がさらに増水し、今後氾濫し、重大な洪水害が発生する可能性が高い。 <b>水位が一定の水位を越えている場合には速やかに避難を開始する。</b> | 4相当       |
| 警戒<br>(警報級)  | <b>水位が一定の水位を越えている場合には避難の準備が整い次第、避難を開始する。</b> 高齢者等は速やかに避難を開始する。                     | 3相当       |
| 注意<br>(注意報級) | ハザードマップ等により災害が想定されている区域や避難先、避難経路を確認する。今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意。                        | 2相当       |
| 今後の情報等に留意    | 今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意。                                                              | —         |

避難行動の詳細な説明はこちらのページからご確認ください。 [http://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/bosai/riskmap\\_flood.html](http://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/bosai/riskmap_flood.html)

洪水予報河川の洪水で命に危険が及ぶ地域では、指定河川洪水予報の内容に応じた避難を心がけてください。それ以外の河川の洪水で命に危険が及ぶ地域では、赤色以上の危険度となった場合は、水位等の河川の現況も確認のうえ、命を守るための避難行動を心がけてください。

\*指定河川洪水予報については、裏表紙をご参照ください



# 災害発生の危険度分布ができるまで

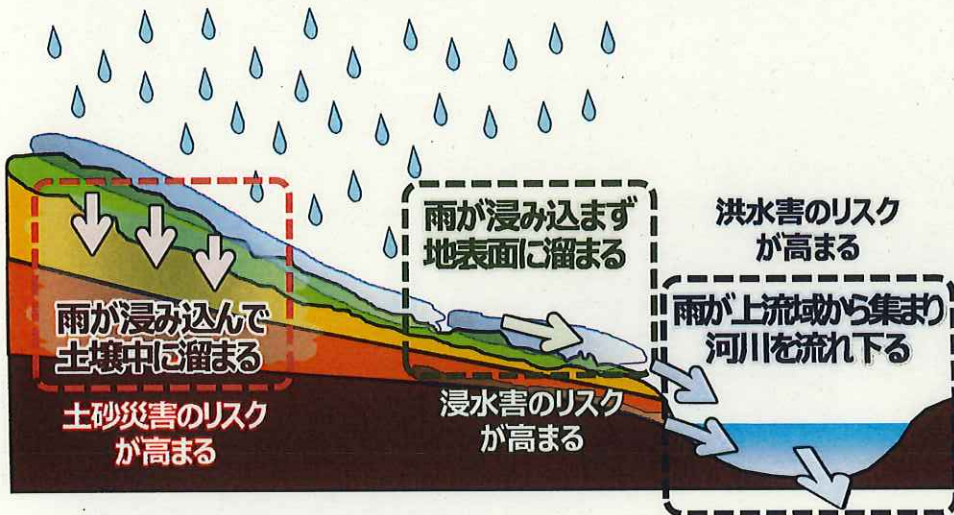
平成26年に広島で発生した土砂災害、平成29年7月九州北部豪雨、平成30年7月豪雨、令和元年東日本台風、令和2年7月豪雨の土砂災害、浸水害、洪水災害・・・。日本は毎年のように大雨による災害に見舞われています。

気象庁では、災害リスクの高まりを示す「指数」および地域の特性に応じた「基準」を用いて、災害発生の危険度を予測した分布図によって、災害発生に対する警戒を呼びかけています。

## 【降った雨による災害発生のメカニズムを指数化します】

大雨によって引き起こされる災害には、土砂災害、浸水害、洪水災害があります。

気象庁では、まず、降った雨が溜まったり流れ下ることで、土砂災害、浸水害、洪水災害リスクを高めるメカニズムを以下の図のように模式化して、それぞれの災害発生との相関が高い「指数」を求めます。



雨の降り方だけでなく、雨の浸み込み方や、河川に集まり流れ下る量も考慮しているんだね。



## 【過去20年以上の災害データから「基準」を作成】

災害発生の危険度は大雨・洪水警報の「基準」で判断します。

過去20年以上のデータに基づいて基準を作成しており、例えば洪水警報では、「流域雨量指数がこの数値を超えると重大な洪水災害がいつ発生してもおかしくない」という値を基準にしています。

土砂災害、浸水害の発生には、地盤の崩れやすさ、排水施設の状況といった要素が深く関わっていますが、過去の災害データに基づいて基準を設定することにより、これらの要素は間接的に反映されています。



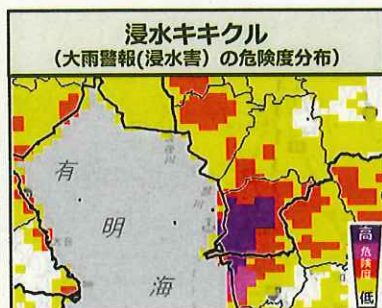
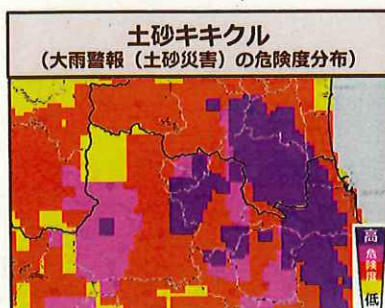
災害と照らし合わせることで、基準に、その土地の災害に対する弱さや特性が反映されるのです。



## 【指数を基準で判定した結果をキキクル（危険度分布）として表示し、警戒を呼びかけ】

「指数」と「基準」から災害発生の危険度を判定し、大雨警報・洪水警報や土砂災害警戒情報を発表するとともに、どこで危険度が高まっているかを危険度分布で表示し、警戒を呼びかけています。

キキクル（危険度分布）では、土砂災害、浸水害、洪水災害の危険度が高まっている状況を地図上で色分けして表示しています。危険度は黄→赤→うす紫→濃い紫の順に高くなります。キキクル（危険度分布）を見ると、自らの地域に迫る危険度の高まりを一目で把握できます。





# 利用すべき気象情報は、場所によって違います

災害は、もともと災害のおそれがある場所に、大雨などの災害を引き起こす現象が加わることで発生します。利用する気象情報やキキクル（危険度分布）の種類等は、お住まいの場所によって違います。

## 【立ち退き避難が必要な、災害発生危険性が認められる場所】

### 土砂災害で命を奪われる場所

崖や溪流のそばなど、崖崩れや土石流により家屋が壊滅的な被害をうけてしまう場所

### 河川氾濫で命を奪われる場所

山間部の流れの速い河川で川岸が削られて家屋が流されてしまう場所  
川からあふれた水の流れにより家屋が流失してしまう場所（谷底平野など）  
川の付近の低地の家屋や地下室などのように、深く浸水してしまう場所  
ゼロメートル地帯のように、浸水が長期間継続してしまう場所

自治体のホームページやハザードマップも確認しておこう



これらの命が脅かされる危険性が認められる場所について、土砂災害警戒区域や浸水想定区域が指定されている場合は、市町村等のハザードマップで確認できます。

## 【お住まいの場所ごとに違う必要な情報の例】

川のそば、急傾斜地のそばなど、場所により確認すべき情報は違います。下の図で、それぞれの環境に応じて必要な情報の一例を示しました。

あらかじめ、お住まいの場所でどのような災害が発生しやすいのかをご認識いただき、いざというときに利用すべき情報の種類をご確認ください。なお、実際に避難する際は周囲の気象状況に十分注意して行動してください。

### 家の裏が斜面となつて いるAさん（76）



土砂キキクル（危険度分布）が赤になったとき、近くの指定避難所である公民館に避難することとしている

#### ●利用する気象警報等

大雨警報  
(土砂災害)

土砂災害  
警戒情報

土砂キキクル  
(危険度分布)

### 中小河川沿いのマンション の1Fに住むCさん（18）



雨が強くなくても、洪水キキクル（危険度分布）がうす紫になったとき、または、氾濫危険情報が発表されたとき、3Fの友達の家に避難することとしている

#### ●利用する気象警報等

洪水警報

洪水キキクル  
(危険度分布)

氾濫危険情報

### 山間部の流れの速い河川 沿いに住むBさん（50）



洪水キキクル（危険度分布）がうす紫になったとき、速やかに避難場所へ行くようにしている

#### ●利用する気象警報等

洪水警報

洪水キキクル  
(危険度分布)

### 住宅兼店舗の半地下階で 働くDさん（40）



浸水キキクル（危険度分布）が赤になったとき、地上階に避難することとしている

#### ●利用する気象警報等

大雨警報  
(浸水害)

浸水キキクル  
(危険度分布)

\* 水位周知河川の水位到達情報については、裏表紙をご参照ください



# 土砂災害・浸水害・洪水災害に対する主な情報

## 土砂災害

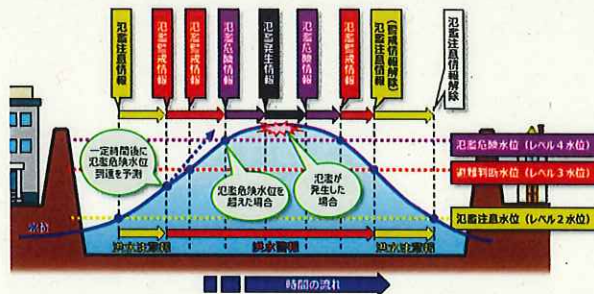
|                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|--------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 大雨警報（土砂災害）               | 大雨により、重大な土砂災害が発生するおそれがあると予想したときに発表しています。この情報が発表されたときは、実際にどこで土砂災害発生のおそれが高まっているかを「土砂キキクル（大雨警報（土砂災害）の危険度分布）」で確認してください。                                                                                                                                                                            |
| 土砂災害警戒情報                 | 大雨により、命に危険が及ぶ土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに、都道府県と気象庁が共同で発表しています。この情報が発表されたときは、「土砂キキクル（大雨警報（土砂災害）の危険度分布）」において「非常に危険」（うす紫）が出現していることを意味しており、市町村から警戒レベル4の情報が発表される状況です。「非常に危険」（うす紫）のメッシュ内の土砂災害警戒区域等にお住まいの方は <b>速やかに避難を開始</b> してください。                                                                   |
| 土砂キキクル（大雨警報（土砂災害）の危険度分布） | 大雨による土砂災害発生のおそれの高まりを、地図上で5段階に色分けして示す情報です。常時10分毎に更新しており、大雨警報（土砂災害）、土砂災害警戒情報、記録的短時間大雨情報等が発表されたときに、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。避難にかかる時間を考慮して、危険度の判定には2時間先の未来までの土壌雨量指数等の予測値を用いています。遅くとも「非常に危険」（うす紫）が出現した時点で <b>速やかに避難を開始</b> し、「極めて危険」（濃い紫）に変わるまでに土砂災害警戒区域等の外の少しでも安全な場所への <b>避難を完了</b> しておく必要があります。 |

## 浸水害

|                         |                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 大雨警報（浸水害）               | 重大な浸水害（いわゆる内水氾濫）が発生するおそれがあると予想したときに発表します。この情報が発表されたときは、実際にどこで浸水害発生のおそれが高まっているかを「浸水キキクル（大雨警報（浸水害）の危険度分布）」で確認してください。                                                                                                                                |
| 浸水キキクル（大雨警報（浸水害）の危険度分布） | 短時間強雨による浸水害（いわゆる内水氾濫）発生のおそれの高まりを、地図上で1kmごとに5段階に色分けして示す情報です。常時10分毎に更新しており、大雨警報（浸水害）や記録的短時間大雨情報等が発表されたときに、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。危険度の判定には1時間先の未来までの表面雨量指数の予測値を用いています。「注意」（黄色）が出現した際には、各自の判断で、住宅の地下室からは地上に移動してください。また、道路のアンダーパスには近づかないようにしてください。 |

## 洪水災害

|                    |                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|--------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 洪水警報               | 河川の上流域での降雨や融雪によって増水や氾濫による重大な洪水災害となるおそれがあると予想したときに発表します。この情報が発表されたときは、実際にどの河川のどの場所で洪水災害発生のおそれが高まっているかを「洪水キキクル（洪水警報の危険度分布）」で確認するとともに、水位計や監視カメラ等で現地情報も確認してください。                                                                                                       |
| 洪水キキクル（洪水警報の危険度分布） | 指定河川洪水予報の発表対象でない中小河川（「水位周知河川」、「その他河川」）の洪水災害発生のおそれの高まりを、地図上で概ね1kmごとに5段階に色分けして示す情報です。常時10分毎に更新しており、洪水警報や記録的短時間大雨情報等が発表されたときに、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。危険度の急上昇にも対処するため、危険度の判定には3時間先の未来までの流域雨量指数の予測値を用いています。特に「非常に危険」（うす紫）が出現して氾濫注意水位等を越えたら <b>速やかに避難を開始</b> してください。 |
| 指定河川洪水予報           | 大河川（洪水予報河川）の氾濫等のおそれについて、気象庁は国土交通省又は都道府県の機関と共同で、洪水の予報を行っており、これを指定河川洪水予報と呼んでいます。発表する情報は、氾濫注意情報、氾濫警戒情報、氾濫危険情報、氾濫発生情報の4つがあります。特に「 <b>氾濫危険情報</b> 」が発表された場合には、河川がいつ氾濫してもおかしくない非常に危険な状況となっていますので、安全な場所への避難を開始してください。                                                      |
| 水位周知河川の水位到達情報      | 洪水予報河川以外の河川で、国土交通大臣、都道府県知事が、あらかじめ指定した河川（水位周知河川）について氾濫危険水位等に水位が到達したときに発表する情報を、水位到達情報と呼んでいます。「〇〇川氾濫危険情報」のように発表されます。                                                                                                                                                  |



〒105-8341 東京都港区虎ノ門3丁目6番9号  
 電話：(03) 6758-3900 (代表)  
 FAX：(03) 3434-9086 (耳の不自由な方向へ)  
<http://www.jma.go.jp/>

このリーフレットは印刷用の紙へリサイクルできます。 令和3年3月



15時間先までの雨の分布を表示

# 「今後の雨」

午後から雨の予報だけど、  
いつ頃から降るのかしら？

そんなときは気象庁の  
「今後の雨」！

スマートフォンで  
早速見てみよう！

アクセス方法は、  
裏表紙を見てね



「今後の雨」にアクセスしよう

○ 気象庁ホームページからアクセス



○ コードや検索からアクセス



気象庁  
〒100-8122 東京都千代田区大手町1-3-4  
電話：03-3212-8341 <https://www.jma.go.jp>  
気象庁ホームページ



## 「今後の雨」の利用例 ～大雨に備えよう～

★「今後の雨」で15時間先までの雨の分布を確認

「今後の雨」を見てみよう！  
夕方のおうちに翌朝までの  
予報が分かるよ

「今後の雨」を見てみよう！  
夕方のうちに翌朝までの  
予報が分かるよ

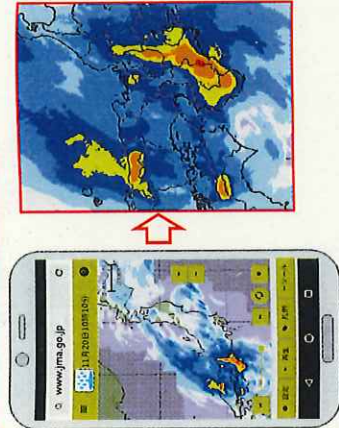
見たい地域を  
拡大してみよう。

家のあたりは夜中に雨が強くなる  
のね。警報は出ているのかしら。

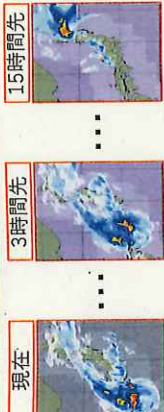
気象庁のホームページで  
注意報や警報を確認しよう。

「今後の雨」とは...

見たい地域を自由に拡大・縮小できる



15時間先まで1時間ごとの  
雨の分布を表示



日常生活でも利用しよう！

朝出かけるときに帰る  
頃の予報が確認できるよ

夕方から雨が...  
じゃあ傘を  
持って行こう

出かける前に  
「今後の雨」を  
確認しておいて  
よかった！

夜寝る前に翌日午前中の  
予報が確認できるんだ

明日は昼前から  
雨が降る予報ね  
早めに出よう

「今後の雨」を  
確認して早めに  
出てよかった！

裏面をめぐって危険度分布  
の説明も確認してね

★「危険度分布」を確認

「今後の雨」ページから  
地図の範囲を変えないで  
切り替えられるよ。

大雨になったらこまめに確認して  
遅くとも**ず紫（非常に危険）**  
のうちに避難を完了しよう！

土砂災害  
浸水害  
洪水

★大雨と洪水の注意報や警報を確認

都道府県・市区町村を選択

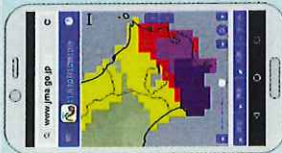
| 都道府県 | 今現在の警報 (大雨・洪水) |    |    |    |   |    |    |    |    |    |    |    |
|------|----------------|----|----|----|---|----|----|----|----|----|----|----|
|      | 48             | 36 | 24 | 12 | 0 | 12 | 24 | 36 | 48 | 60 | 72 | 84 |
| 大雨   |                |    |    |    |   |    |    |    |    |    |    |    |
| 洪水   |                |    |    |    |   |    |    |    |    |    |    |    |

警報級の現象が予想される  
時間帯を赤色で明示

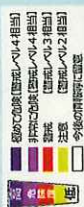


# 『今後の雨』から切り替えられるコンテンツ (大雨・洪水警報の危険度分布/雨雲の動き)

## 大雨警報 (土砂災害) の危険度分布 (土砂災害警戒判定メッシュ情報)



- 2時間先までの予測
- 10分間隔で更新



土砂災害で命が脅かされる危険性が認められる場所



※ 黄色部分は土砂災害警戒区域を示す。

### 極めて危険 災害がすでに発生のおそれ

- 命に危険が及ぶ土砂災害がすでに発生している
- この状況になる前に土砂災害警戒区域等の外の少しでも安全な場所への避難を完了しておく

### 非常に危険 警戒レベル4相当

- 命に危険が及ぶ土砂災害がいつ発生してもおそれがない
- 土砂災害警戒区域等の外の少しでも安全な場所へ速やかに避難を開始

### 警戒 (警報級) 警戒レベル3相当

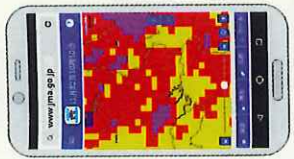
- 避難の準備が整い次第、少しでも安全な場所へ避難を開始
- 高齢者等は速やかに避難を開始

### 注意 (注意報級) 警戒レベル2相当

- ハザードマップ等により避難行動を確認する
- 今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意

今後の情報等に留意

## 大雨警報 (浸水害) の危険度分布



- 1時間先までの予測
- 10分間隔で更新



浸水害で命が脅かされる危険性が認められる場所



### 極めて危険 災害がすでに発生のおそれ

- 重大な浸水害がすでに発生している
- おそれ大きい

### 非常に危険

- 周囲の状況を確認し、各自の判断で、屋内の浸水が及ばない階に移動

### 警戒 (警報級)

- 準備が整い次第、早めに安全確保行動をとる
- 高齢者等は速やかに安全確保行動をとる

### 注意 (注意報級)

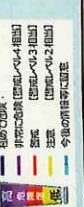
- 各自の判断で、住宅の地下室から地上に移動し、道路のアンダーパスには近づかない

今後の情報等に留意

## 洪水警報の危険度分布



- 3時間先までの予測
- 10分間隔で更新



洪水で命が脅かされる危険性が認められる場所



### 極めて危険 災害がすでに発生のおそれ

- 重大な洪水災害がすでに発生している
- おそれ大きい

### 非常に危険 警戒レベル4相当

- 一定の水位を超えている場合は速やかに避難を開始

### 警戒 (警報級) 警戒レベル3相当

- 一定の水位を超えている場合は準備が整い次第、避難を開始
- 高齢者等は速やかに避難を開始

### 注意 (注意報級) 警戒レベル2相当

- ハザードマップ等により避難行動を確認する
- 今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意

今後の情報等に留意

「濃い紫」が出現した場合は、過去の重大な災害時に匹敵する状況となっていることを示し、重大な災害がすでに発生しているおそれが高い状況を表しています。このため、それより前の時点、遅くとも「うす紫」が出現した時点で避難を開始することが重要とされています。

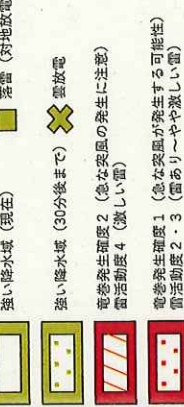
## 雨雲の動き (高解像度降水ウエキャスト)



- 1時間先までの5分ごとの雨の強さの分布
- 5分間隔で更新



地図下のボタンを押すことで、強い降水域、竜巻発生確度や雷活動度、観測された雷を重ねて表示可能



## 全コンテンツ共通の便利な機能

- ① 他のコンテンツに地図の範囲を変更せずに切替え
- ② 「ツール」ボタンから、市町村名、河川や鉄道などを地図に重ねて表示
- ③ 位置情報機能を活用して現在地を中心に表示

